

2-2 環境保全意識の向上

1) 環境学習会の開催

水資源機構では、職員の環境に対する意識と知識の向上、工事や調査の関係者への環境保全に対する意識の啓発を目的として、環境学習会を開催しています。環境学習会には、地域の方々や利水者の方々にも参加していただき、水資源機構の環境保全の取組みを理解していただくよう努めています。

平成21年度は、水資源機構の平成21事業年度年度計画のとおり、全ての事業所で環境学習会を開催しました。環境学習会へは、水資源機構単独で開催したものと、他の機関との共催で開催したものを合わせると、10,000人を超える方が参加しました。

環境学習会の開催と参加状況

環境学習会の形態	水資源機構単独開催		他機関と共催	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
学習会・講習会	43 (21) ^{※1}	1,278名	6	404名
野外実習を伴う学習会	13 (2)	188名	2	31名
体験学習	17 (17)	1,161名	22	6,038名
出前講座	15	966名	9	436名
合計	88 (40)	3,593名	39	6,909名

※1 表中の()は、地域の方々、利水者等も参加した回数(内数)を表し、他機関と共催した学習会はすべて地域の方々等も参加しています。



学習会の状況(関西支社)



学習会の状況(川上ダム建設所)



学習会の状況(丹生ダム建設所)



学習会の状況(日吉ダム管理所)



体験学習会の状況(一庫ダム管理所)



体験学習会の状況(木津川ダム総合管理所)



体験学習会の状況(琵琶湖開発総合管理所)

各事業所での主な環境学習会の内容および開催状況

事業所名	テーマ又は内容	開催形態		開催日時
本社・総合技術センター	仔アユと堰：影響と対策	学習会・講演会	単独※1	H21. 4. 24
利根導水総合事業所	秋ヶ瀬取水堰魚道見学会	野外実習を伴う学習会	単独	H21. 4. 22
思川開発建設所	栃木の里山の魅力と課題	学習会・講演会	単独	H22. 2. 10
千葉用水総合管理所	地域の環境を学ぶ教養講座	出前講座	単独	H22. 2. 16
沼田総合管理所	おくとね湖のおさかな勉強会	体験学習会	共催※2	H21. 7. 14
利根川下流総合管理所	行方市児童環境科学セミナー	体験学習会	共催	H21. 7. 30他3日
荒川ダム総合管理所	ダム貯水池を水源とする水道水の水質管理	学習会・講演会	単独	H21. 5. 15
下久保ダム管理所	ヤマメの放流体験会	体験学習会	共催	H22. 3. 10
草木ダム管理所	水質学習会 各事業所での主な環境学習会の内容および開催状況	学習会・講演会	単独	H21. 11. 26
群馬用水総合事業所	施工現場における環境保全への取り組み	学習会・講演会	単独	H22. 3. 4
霞ヶ浦用水管理所	霞ヶ浦、霞ヶ浦用水の水質の経年変化について	学習会・講演会	単独	H21. 9. 30
中部支社	生物多様性とCOP10について	学習会・講演会	単独	H22. 2. 24
豊川用水総合事業部	東三河地域の水源水質の経年変化、現状等について	学習会・講演会	単独	H22. 2. 23
木曾川水系連絡導水路建設所	リスク管理～企業も守るリスクコミュニケーション～	学習会・講演会	単独	H22. 1. 13
愛知用水総合管理所	魚類調査体験学習会	体験学習会	単独	H21. 11. 5
木曾川用水総合管理所	サツキマス稚魚放流体験	体験学習会	共催	H21. 12. 4
徳山ダム管理所	水源地防人育成セミナー（一滴塾）	学習会・講演会	共催	H21. 11. 14、15
岩屋ダム管理所	稚アユ放流体験学習会	体験学習会	単独	H21. 6. 2
阿木川ダム管理所	地域で取り組むホタルの保全活動	体験学習会	共催	H22. 2. 22
長良川河口堰管理所	地球温暖化防止と省エネルギー	学習会・講演会	単独	H21. 12. 14
味噌川ダム管理所	味噌川ダムの水質調査について	学習会・講演会	単独	H21. 9. 18
三重用水管理所	Mie子どもエコフェア	体験学習会	共催	H21. 7. 18、19
関西支社	流域における土砂環境の変化と新たな河川・ダム技術の展開	学習会・講演会	単独	H22. 1. 22
川上ダム建設所	伊賀地域の自然環境について	学習会・講演会	単独	H22. 3. 25
丹生ダム建設所	外来生物法をきっかけにして～事業との関係から考える～	学習会・講演会	単独	H21. 11. 18
琵琶湖開発総合管理所	ピオトープに生息する動植物の観察会	体験学習会	共催	H21. 6. 7
木津川ダム総合管理所	ホタル観察会	体験学習会	単独	H21. 6. 18
一庫ダム管理所	自然環境観察隊(キッズレンジャー)	体験学習会	共催	H21. 8. 19
日吉ダム管理所	日吉ダムでみどりの未来について考える	学習会・講演会	単独	H21. 9. 28
吉野川局	自然公園法の概要及び関係手続き	学習会・講演会	単独	H21. 12. 14
池田総合管理所	稚アユ放流体験学習会	体験学習会	単独	H21. 5. 11他5日
旧吉野川河口堰管理所	ISO14001について	学習会・講演会	単独	H22. 2. 24
香川用水管理所	「空中田植え」体験会	体験学習会	共催	H21. 6. 21
筑後川局	自然公園法講演会	学習会・講演会	単独	H20. 6. 2
小石原川ダム建設所	小石原川源流探検隊2009	体験学習会	単独	H21. 8. 2
寺内ダム管理所	環境学習会（水質事故対応訓練）	野外実習を伴う学習会	単独	H21. 10. 7
大山ダム建設所	キンランの特徴と移殖方法	体験学習会	単独	H21. 11. 13
筑後川下流総合管理所	川のはたらきと人の関わりについて	出前講座	単独	H21. 6. 19
筑後大堰管理所	「筑後大堰関連海況生物調査」～水質及び底質の分析について～	学習会・講演会	単独	H21. 11. 27

※1 単独：水資源機構が環境学習会を単独で開催したもの。

※2 共催：水資源機構が環境学習会を他機関と共同で開催したもの。

2-3 社会とのコミュニケーション

1) 環境に関する情報の発信

水資源機構では、ホームページ、広報誌、パンフレット、各種イベントなどを利用して、各事業に関するさまざまな情報を発信しています。その中で、各事業の環境保全活動に関する情報も数多く発信し、水資源機構の環境保全への取組みについて、より多くの方々から理解が得られるよう努めています。

■ 広報誌等による情報発信

水資源機構の各事業所では、環境保全に関する活動内容について広く皆様にご覧いただくとともに、水資源機構事業への理解を得るため、様々な情報を掲載した広報誌を発行しています。また、ホームページによる情報の発信も行っています。

日吉ダム管理所では、広報紙「南丹(にゃんたん)さんぽ」において、ダム周辺で行った清掃活動の様子を紹介しました。

川上ダム建設所では、広報誌「川上ダム通信」において、環境学習会の実施状況や河川環境フェスティバルへの参加状況など、環境保全の取組について紹介しました。



広報紙「南丹さんぽ」(日吉ダム管理所)



広報紙「川上ダム通信」(川上ダム建設所)

■ イベントを利用した情報発信

水資源機構の関西支社管内では、各地で行われているイベント等へPRコーナーを出展し、環境保全の取組についてパネル等を使って紹介しました。

丹生ダム建設所では、地元の余呉町(現長浜市)と連携して「丹生ダムふれあいフェスタ 2009」を開催し、水資源機構事業、丹生ダム建設事業、高時川流域の動植物などの紹介を通じて、水や環境保全の重要性について情報発信を行いました。

琵琶湖開発総合管理所では、高島市域の農業、漁業、河川

管理の関係機関が連携し設立した「琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会」の年間行事である「水辺の環境展」において、上下流住民を対象として琵琶湖の役割、琵琶湖の持つ自然の豊かさ、それを維持するためにしなければならないことを伝えました。7月に利水者である下流大阪市の大阪市水道局記念館、11月に地元の商業施設であるイオンモール草津において、高島うおしまプロジェクト(さかなをふやす取組)のパネルや琵琶湖や田んぼに生息する魚の水槽等を展示しました。



丹生ダムふれあいフェスタ2009



琵琶湖水辺の環境展(11月)

2) 地域に密着した施設・水辺空間

水資源機構の施設の多くは、水源地域や都市部の中でも比較的豊かな地域に存在しています。

施設やその周辺は、自然とのふれあいの活動の場となる水辺や緑地が形成されており、散歩などを目的に、地域の方々や都市部からの見学者に利用されています。

また水資源機構では、施設の新築や改築を行う際には、地域環境との調和や施設周辺の景観に配慮した施設整備を実施しています。

■ダム湖面や施設周辺の利用

ダムにより新たに創られた湖面は、釣りやボートなどのレクリエーションの場として多くの方々に利用されています。

また、ダムや水路などの施設管理周辺は、行楽やスポーツ競技の会場として多くの方々に利用されています。

●布目ダム



魚釣り大会



自転車ロードレース

■キロポスト標識と情報カードの設置

青蓮寺ダムでは、不法投棄や危険箇所を分かり易くするためのダム管理標識として、また、ダム湖周辺に訪れる方々への情報提供や青蓮寺ダム湖周辺の環境保全などを目的に、「道路距離標看板キロポスト」を設置しました。

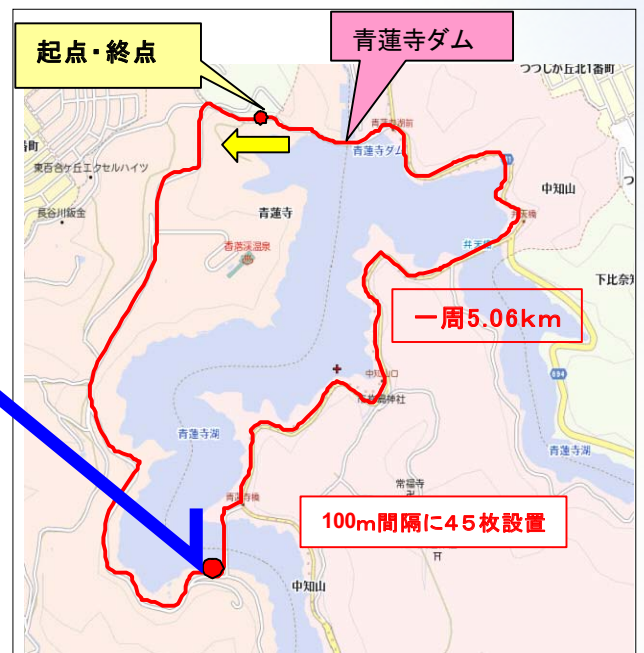
このキロポストには、地元の方々の協力を得て、周辺に自生する花をカラーで紹介する案内板「情報カード」を取り付け、訪れる方に楽しんでいただいております。



キロポストと情報カード



情報カード



青蓮寺湖周辺

3) 環境保全活動と地域交流への取組み

環境に関する国民の意識の高まりとともに、地域の環境美化・環境保全を目的とした清掃などの活動が各地で盛んに行われています。

水資源機構では、地域社会の一員として、地元自治体や関係団体とともに、森林整備活動、地域・河川内の清掃活動や環境に関する啓発活動などに参加しています。

■現場体験学習会の開催

琵琶湖開発総合管理所では、高島市、滋賀県、針江農事改良組合、太田農事改良組合、湖西漁業組合、国土交通省等と協力して、カヌーで針江大川や琵琶湖の水辺を観察する自然観察会を開催しました。関係機関とともに「お魚ふやし隊」を結成し、うおじま(出水時に魚が大群をなして遡上する様子)や田んぼへの産卵の風景を復活させ、琵琶湖固有種であるニゴロブナやホンモロコなどを増やす取組みの一環として実施したものです。



自然観察会(琵琶湖開発総合管理所)

■水関連イベントへの参加

大阪府水道部の村野浄水場主催の「水とふれあう夏休み in 村野浄水場」に、水資源機構も参加し、浄水場の主たる水源である琵琶湖の紹介、名張川上流3ダムの統合操作による洪水調節の様子、流木や外来魚の駆除とリサイクル、そして水源地の紹介とさまざまな展示でPRに努めました。



「水とふれあう夏休み in 村野浄水場」(大阪府)

名張川上流3ダムの統合操作による洪水調節

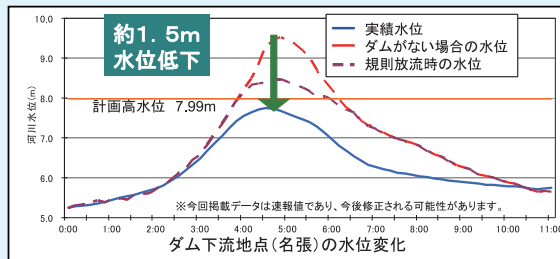
平成21年10月8日未明の台風18号による大雨において三重県名張市街地を流れる名張川が増水し、木津川ダム総合管理所が管理する上流の3ダム（青蓮寺ダム、比奈知ダム及び室生ダム）が通常の洪水調節操作を実施したとしても、下流の名張市街地においてははん濫するおそれがありました。このため、国土交通省淀川ダム総合管理事務所の指示を仰いで、同総合管理所による3ダムの統合操作を実施しました。これによって名張市街地で約1,180戸の浸水を回避することができました。

その後10月20日に、この統合操作を行った機構に対し、名張市長から感謝状をいただきました。

これに関して平成22年5月、国土交通省淀川ダム総合管理事務所ならびに木津川ダム総合管理所に対して、社団法人土木学会より「名張川上流3ダムの統合操作による洪水調節」についての技術賞と、財団法人ダム水源地環境整備センター主催によるダム・堰危機管理業務顕彰委員会から最優秀賞が贈られました。



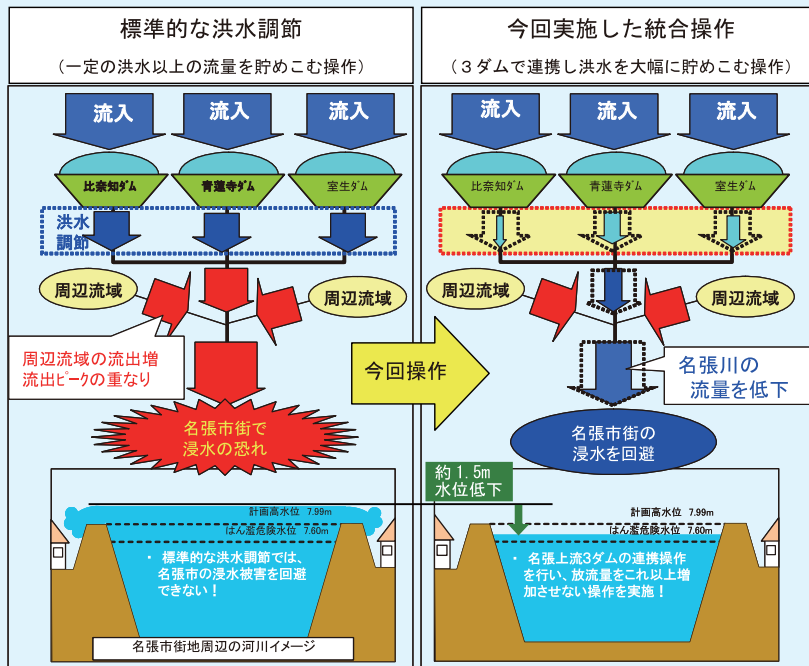
名張川上流3ダムと名張市街地位置図



名張川上流3ダムによる洪水調節効果



洪水調節中の室生ダム



名張川上流3ダムの統合操作のイメージ



土木学会技術賞



名張市長からの感謝状



ダム・堰危機管理業務顕彰委員会最優秀賞

川上ダム建設事業における オオサンショウウオ調査及び環境保全への取り組み

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

川上ダム建設予定地及びその周辺におけるオオサンショウウオについて

- ・川上ダムでは、国指定の特別天然記念物であるオオサンショウウオについて、学識者等から指導・助言をいただきながら、平成8年から調査を行い、保全対策の検討を進めてきました。
- ・川上ダム関連で調査を行った木津川、前深瀬川、川上川では978個体が確認されています。（平成20年11月時点）
- ・このうち将来ダムができる区域及び貯水池となる区域では19%の188個体が確認されています。
- ・事業の実施に伴いオオサンショウウオの生息可能な区域の減少が予測されますが、ダム貯水池の上下流には本種の生息に適した環境が多く残されることから、この地域におけるオオサンショウウオの個体群は維持されるものと考えられます。



オオサンショウウオ確認個体数(成体)
(平成8年9月～平成20年11月)



<夜行性のオオサンショウウオを探す調査員>



<確認されたオオサンショウウオの体長計測(74cm)>

調査範囲	確認個体数
ダム建設予定地下流	87
ダム堤体及び湛水予定区域	188
湛水予定区域上流	703
計	978

<調査範囲別確認個体数>

オオサンショウウオ保全への取り組み

川上ダム予定地周辺に生息するオオサンショウウオは特別天然記念物であり、また地域を特徴づけるシンボリック的存在です。水資源機構では、より確実にオオサンショウウオの個体群が維持されるように保全対策を実施することになりました。

具体的には「川上ダムオオサンショウウオ調査・保全検討委員会(委員長：松井正文 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授)」を平成8年8月に設立し、委員会の指導・助言を得ながら生息状況等の調査の実施及び保全対策の検討を進めるとともに、自然河川に隣接して設置した保護池での個体の保護や試験、人工巣穴及びオオサンショウウオ道の設置、移転試験などを行ってきました。

今後、モニタリング調査を継続し保全対策を実施していきます。

保護池での保全対策の検討

自然河川を模したオオサンショウウオの保護池を以下の目的で設置し、保全に向けた知見を集めています。

- ・ 工事箇所で捕獲された個体の一時保護
- ・ 移動が困難な堰等を想定した斜路による遡上確認試験
- ・ 人工巣穴での行動・生態の把握



<オオサンショウウオ保護池(遠景)>



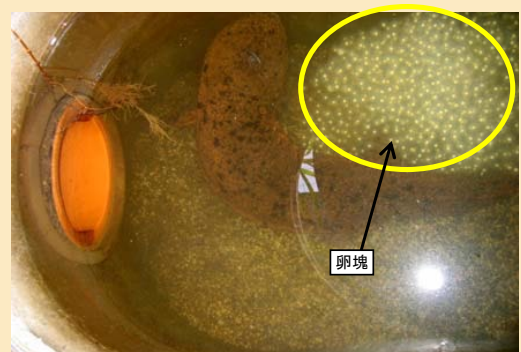
<斜路による遡上確認試験>



<壁に沿って斜路を遡上するオオサンショウウオ>



<自然河川から引き入れた水が循環する人工巣穴>



<人工巣穴で卵を守るオスの成体>

湛水予定区域上流における生息環境の改善

オオサンショウウオの生息環境を改善するため、今後以下の保全対策を実施していきます。

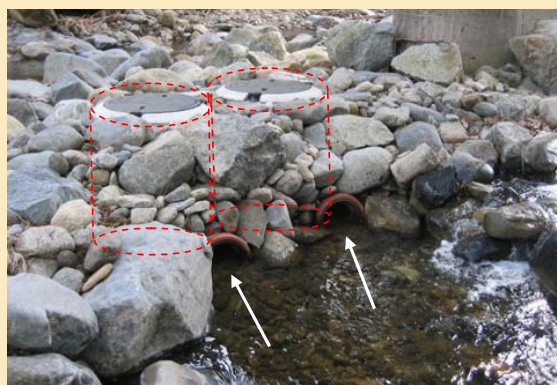
- ・堰等によりオオサンショウウオの移動が困難な箇所には、オオサンショウウオ道を設置します。
- ・繁殖巣穴が少ない河川区間には、人工巣穴を設置します。



＜学識者による自然河川に設置した斜路に対する現地指導＞



＜オオサンショウウオが体を寄せる壁を設けた改良型の斜路＞



＜自然河川に設置した人工巣穴＞

移転試験

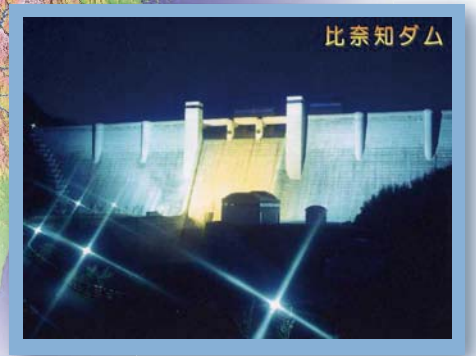
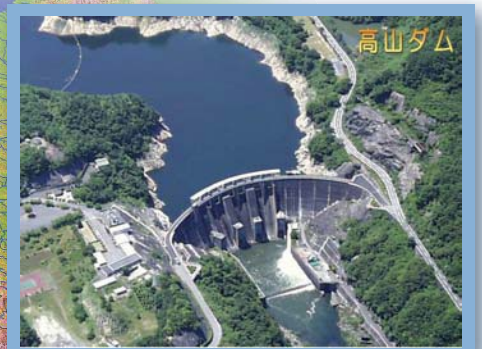
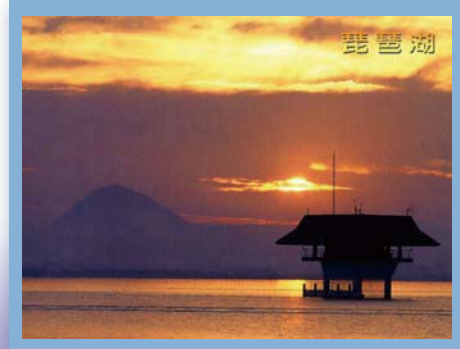
移転先での定着状況を把握するための移転試験を学識者等の指導・助言のもと実施しました。なお、移転先でのオオサンショウウオの定着状況等についての追跡調査を継続的に実施しています。



＜移転試験の状況＞

2010.10.22

〇〇〇 美しい水環境づくり 〇〇〇



■ 水資源機構関西支社

管内事務所の所在地 (平成23年1月1日現在)

関西支社

〒540-0005 大阪市中央区上町A-12
TEL.06-6763-5182

中津川管理室

〒554-0001 大阪市此花区高見1-10-46
TEL.06-6462-7701

川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保251
TEL.0595-52-1661

丹生ダム建設所

〒529-0522 滋賀県長浜市余呉町坂口819
TEL.0749-86-3800

琵琶湖開発総合管理所

〒520-0243 滋賀県大津市堅田2-1-10
TEL.077-574-0680

湖南管理所

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091-58
TEL.077-568-4102

湖北管理所

〒521-0011 滋賀県米原市中多良1-2
TEL.0749-52-5160

湖西管理所

〒520-1623 滋賀県高島市今津町住吉1-3-4
TEL.0740-22-1501

木津川ダム総合管理所

〒518-0413 三重県名張市下比奈知2811-2
TEL.0595-94-8961

高山ダム管理所

〒619-1421 京都府相楽郡南山城村大字田山字ツルギ43
TEL.0743-94-0201

青蓮寺ダム管理所

〒518-0442 三重県名張市中知山1-166
TEL.0595-63-1289

室生ダム管理所

〒633-0315 奈良県宇陀市室生区大野3846
TEL.0745-92-2320

布目ダム管理所

〒630-1234 奈良県奈良市北野山町869-2
TEL.0742-94-0231

比奈知ダム管理所

〒518-0412 三重県名張市上比奈知字熊走り1706
TEL.0595-68-7111

一庫ダム管理所

〒666-0153 兵庫県川西市一庫字唐松4-1
TEL.072-794-6671

日吉ダム管理所

〒629-0335 京都府南丹市日吉町中神子ヶ谷68
TEL.0771-72-0171

水がささえる豊かな社会



独立行政法人
水資源機構
関西支社

平成23年2月